

「単元の評価規準」、「指導と評価の計画」については、中学校・高等学校は中単元分、小学校は大単元分を作成する。

1 単元名 保健「生涯を通じる健康」（労働と健康）

2 単元の目標

大単元

中単元

- (1) 生涯を通じる健康について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深めることができるようにする。 (知識)
- (2) 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動に意欲的に取り組もうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

※ 「学習指導要領解説」から語尾を「～できるようにする」に変えて記載する。  
 ※ 「知識」（本単元に技能はなし）、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の順とする。

3 単元の評価規準

	知識（・技能） 「知識」（本単元に技能はないためカッコ書き）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	生涯を通じる健康について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深めている。	生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動に意欲的に取り組もうとしている。
学習活動に即した評価規準	①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことについて理解したことを発言したり、記述したりしている。 ②労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて理解したことを発言したり、記述したりしている。 ③働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて理解したことを発言したり、記述したりしている。 ④働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて理解したことを発言したり、記述したりしている。	①労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ②働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。	①労働災害と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に、意欲的に取り組もうとしている。 ②働く人の健康の保持増進について、関連する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。

新学習指導要領の「～理解できるようにする」を引用

新学習指導要領の例示

現行の評価規準を引用

今後、国立教育政策研究所が評価規準の参考例を作成する予定である。それ以降については、その参考例をもとに評価規準を作成すること。

思考・判断・表現の「表現」について、「生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明すること」という例示があるが、移行期間において「表現」は指導してもよいが評価はしないこととなっているため、省略している。

4 単元について  
 (1) 教材観 その単元の内容について、学習指導要領解説を参考に、健康・安全に関する社会的背景等を考慮し、教材の特徴を明記する。

(2) 生徒観 児童生徒の学習の様子や、これまでの保健学習における指導内容の定着状況等について明記する。

(3) 学習を進めるに当たって 上記の教材観や生徒観から、教師がどのような内容に力点を置き、どのように指導していくかを具体的に明記する。

5 指導と評価の計画

		第1時	第2時（本時）	第3時	第4時
主 な 学 習 内 容 ・ 学 習 活 動		労働災害と健康①	労働災害と健康②	働く人の健康の保持増進①	働く人の健康の保持増進②
		○労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたこと。	○労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であること。	○働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つこと。	○働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であること。
		1 「働くことの意味」、「理想の仕事」について考える。 2 産業構造、働き方はどのように変化をしてきたか、資料をもとに整理する。 3 産業構造、働き方の変化に伴い、健康面でどのような変化が現れたかを、資料をもとに整理する。 4 資料から得た内容を伝え、成果を共有する。 5 働き方と労働災害の変化についてまとめる。	1 工事現場の安全管理を考える。 2 労働災害を防ぐために、安全管理と健康管理についてどのようなことが必要か、個人で事例を挙げたり、グループで整理したりする。 3 ワークショップ形式で、発表したり、他のグループと意見交換したりする。 4 他のグループの意見を参考に自分のグループの考えを深める。 5 労働災害を防止するための方策についてまとめる。	1 前時を振り返る。 2 働く人の健康状態を把握するための対策（一般健康診断と特殊健康診断）及び職場における健康増進活動について整理する。 3 メンタルヘルスケアについて、実施したチェックに基づき、適切な措置や助言について整理する。 4 ワーク・ライフ・バランスについて整理する。 5 働く人の健康の保持増進のための対策についてまとめる。	1 前時を振り返る。 2 余暇の活用とワーク・ライフ・バランスについて考える。 3 習得した知識をもとにディスカッション（ディベート）を行う。 2名×4チーム×5会場 4 討議内容、主な論点と判定結果を伝え、成果を共有する。 5 生活の質の向上と健康の保持増進についてまとめる。
評 価 機 会 等	知	①【ワークシート・観察】	②【ワークシート・観察】	③【ワークシート・観察】	④【ワークシート・観察】
	思	①【ワークシート】			②【ワークシート】
	態		①【観察】	②【観察】	

※「知識及び技能」の指導内容から、何時間必要かを考慮し、単元計画を作成する。  
 ※小単元の時間数を①②で示す。  
 ※生徒の主な学習活動について示す。

6 本時の目標

- ・ 労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができるようにする。 (知識)
- ・ 労働災害と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に、意欲的に取り組むことができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等)

7 学習指導過程 (例)

☐ : ねらい      - - - : 発問・指示など

時間	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入 7分	<p>1 工事現場の安全管理について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事現場の写真から安全面に関するスローガンを掲げていることに着目する。</li> </ul> <p>- - -</p> <p>工事現場や作業現場で、どのような安全標識やスローガンを見たことがありますか。</p> <p>- - -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループで意見を出し合う。</li> </ul>	<p>○本時の学習内容に興味・関心をもたせる。</p>
展開 35分	<p>2 本時の学習のねらいを確認する。</p> <p>☐ 労働災害を防止するための方策について、さまざまな観点から考えよう。</p> <p>3 労働災害の防止について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 危険を予測するための資料 (イラスト) を用い、災害のリスクの低減策を考える。</li> </ul> <p>- - -</p> <p>ワークシートのイラストを見て、「潜んでいる危険」、「予想される事故・健康障害」、「改善の方法」を考えよう。</p> <p>- - -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人で事例を挙げ、付箋に書く。</li> <li>・ グループごとに書いた付箋を模造紙に貼り、似たような意見を整理し、タイトルをつける。</li> <li>・ グループの意見を発表できるようにまとめる。</li> <li>・ 発表者以外は、他のグループの発表を聞き、意見交換する。全員が発表できるようにする。(1グループ4人程度)</li> <li>・ 元のグループに戻り、他のグループの意見を参考に、自分のグループの対策を深める。</li> </ul>	<p>○本時は、労働災害の防止するには、何が必要なかを考える授業であることを伝える。</p> <p>○思考を活発にさせるために、「高さ」「安定性」「手すりの有無」などの「状態」、障害が発生しそうな作業の仕方などの「行動」、他人の動きや風など、外からの「影響」に着目するよう促す。</p> <p>○できるだけ多く付箋に書くようにさせる。</p> <p>○ファシリテーター役を決めさせ、意見を聞いたりまとめたりさせる。</p> <p>○他のグループの発表と比較し、新たな発見に着目させ、対策を深めさせる。</p> <p>◆主体的に学習に取り組む態度 労働災害と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に、意欲的に取り組もうとする。</p>
	まとめ 8分	<p>4 労働災害を防止するための対策についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働災害を防止するための安全管理及び健康管理についての教師のまとめを聞き、本時の学習内容を整理する。</li> </ul> <p>5 次時の予告を聞き、学習の見通しをもつ。</p>

※「主な学習内容・学習活動」の中では、1、2・・・で生徒の学習活動について示す。  
また、実際の生徒の詳細な活動について「・」で示す。  
※「○指導上の留意点 ◆評価」について、指導したり評価したりする場面に示す。